対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		商工業振興事業（商業・工業）						予算事業名		商工業振興事業費			
予 算 科 目	会計	01	款		項 目		要求区分		根拠法令				
			07	01	03	1101	経常経費						
総合計画体系	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり（産業）						事業の区分		主要事業				
	3-3活気にあふれた商業の振興（商業）								重点事業				
	②にぎわいのある商業の振興						担当課係等		商工観光課				
1商工業振興支援（商業）									商工振興係				
事業期間		継続（ 年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
①結城商工会議所における中小企業の経営及び技術の改善発達が図られる。 ②市内住宅関連業者の就業機会の確保と、長期定住化が図られる。 ③伝統工芸の普及と後継者の育成						中小企業相談事業は、商工会議所内に設置された「中小企業相談所」が実施する経営改善普及事業に対し、組織の機能強化を目的に創設された制度。住宅リフォーム補助金は、平成23年度より社会資本整備総合交付を活用し、平成28～32年度の5ヵ年計画で実施している。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】						【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
①各団体の事業に対する補助金の交付 ・結城商工会議所（中小企業相談事業・商工業振興事業） ・結城桐製品組合 ②住宅リフォーム資金補助金 ・住宅の改良または改修を行う市民に対し、リフォーム資金の一部（1/10、上限10万円）を補助する。 ③伝統工芸品である結城紬をはじめ、桐製品及びまゆ工芸を含めた特産品パンフレットを作成し、伝統工芸品展で活用する。						①市内事業者（結城商工会議所、結城桐製品組合等） ②市民及び市内施工業者 ③伝統工芸品に興味のある者							
						【事業をとりまく環境の変化】							
						国内経済は、緩やかな回復基調が続いているが、本市を含む地方の中小企業に関しては、厳しい状況が続いているのが現状である。住宅リフォーム資金補助金については利用率が高く、経済効果も高いことから継続の意見を受けている。							
【令和 3年度 事業内容】			【令和 4年度 事業内容】			【令和 5年度 事業内容】							
①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し補助金を交付を行う。 ②住宅リフォーム資金に対し補助金の交付を行う。 ③旅費：シルクのまちづくり市区町村協議会の会長市について、順延となった場合は、会長市の愛媛県西予市への出張を予定。			①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し補助金を交付を行う。 ②住宅リフォーム資金に対し補助金の交付を行う。			①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し補助金を交付を行う。 ②住宅リフォーム資金に対し補助金の交付を行う。							
■事業費													
				R01年度		R02年度							
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金				1,020		2,250						
	県 支 出 金				0		0						
	地 方 債				0		0						
	そ の 他				0		0						
	一 般 財 源				17,437		19,413						
歳 入 計（千円）				18,457		21,663							
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）						
	08 旅費				213		463						
	10 需用費				47		196						
	11 役員費				0		15						
	13 使用料及び賃借料				19		51						
	18 負担金補助及び交付金				18,178		20,938						
歳 出 計（千円）（A）				18,457		21,663							
伸 び 率（％）						17.37							
備 考 総合計画 103ページ 予算書 128ページ シルクのまちづくり市区町村協議会総会において、予定では結城市が令和2年度は副会長、令和3年度は会長となる。しかしながら、コロナウイルスの影響により順延になった場合には、令和3年度の総会の際には引き継ぎ業務等があり、令和4年度に結城市で開催することになる。よって、令和3年度においても予算計上する必要があるため、旅費が増となる。													

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	中小企業相談指導件数	件	目標	1,500.00	1,500.00	1,500.00
			実績	634.00	0.00	0.00
	住宅リフォームPR広報誌掲載	回	目標	4.00	2.00	2.00
	広報活動：お知らせ版に5月×1回，9月×1回		実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	結城商工会議所会員数	社	目標	1,500.00	1,320.00	1,320.00
			実績	1,320.00	0.00	0.00
	住宅リフォーム資金補助金支給件数	件	目標	50.00	50.00	50.00
			実績	26.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市内中小企業の活性化のために必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政として，市内事業者に対して支援を行う。
	手段の妥当性	A 妥当である	特に問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	結城商工会議所の会員数が年々減少しており，コストや人員効率の面で見直す必要がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	住宅リフォーム資金補助金は広く市民に公募している。施工業者においては，市内事業者の就業機会の提供も目的としているため，市内に本店がある業者に限定している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	住宅リフォーム資金補助金においては，補助交付額以上の工事が発注されており，大きな経済効果がみられる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	各事業に関しては，事業計画をもとに一定レベルの効果をあげていると思われる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
<p>中小企業相談事業に関しては，会員数や相談指導件数がここ数年減少傾向にある。</p> <p>住宅リフォームに関しては，一定レベルの経済効果はある。しかしながら，施工業者において，市内に本店がない事業者から苦情を受けることもあるが，地元事業者の活性化を図る上では，市内に本店のある事業者に限定すべきである。</p>			
<p>対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか</p> <p>結城商工会議所の中小企業相談事業に関しては，事業内容の必要性などを把握しながら連携して実施していく。</p> <p>補助金及び交付金団体に関しては，事業の実施状況を十分に把握し，適正額を支出する。</p> <p>住宅リフォーム資金補助金に関しては，例年多数の申請があることから，今後も広報活動を強化し市民への周知を図る。</p>			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p>☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開</p> <p>☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>商工会議所や各団体について，通年の事業だけでなく，後継者育成や会員減少など問題意識をもって取り組むよう指導・育成する。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p>☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開</p> <p>☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>